

地盤工学会関東支部 防災・減災のための地盤構造物の設計・施工法に関する研究委員会  
平成 22 年度 第 1 回委員会 議事録

日時：平成 22 年 9 月 7 日（火） 15:00-17:00

場所：地盤工学会 3 階会議室

出席者：宮田委員長，高橋，枝広委員，岡島委員，小浪委員，平野委員，本田委員，松本委員，  
松島委員，森川委員

欠席者：片田委員，河野委員，篠田委員，藪委員

（議事録：高橋）

#### 配布資料

資料 1：平成 21 年度第 3 回委員会の議事録（案）

資料 2：Next-generation performance-based seismic design guidelines, FEMA-445（宮田委員長）

資料 3：前回の宿題について（性能の考え方，耐災診断法・評価法等の整理例）

参考 1：【前回 資料 4】今後の計画案・WG の構成などについて（幹事団素案）

追加資料 1：2007 年度会長特別委員会報告書の目次

#### 議事

##### 1. 前回委員会の議事録の確認

資料 1

- ・ 高橋より，前回議事録案について説明があった。

##### 2. 前回の宿題について（性能の考え方，耐災診断法・評価法等の整理例）

資料 3

- ・ 高橋より，河川構造物を例に，性能の考え方，耐災診断法・評価法等の整理例の紹介があった。これに関する質疑・コメント等は以下のとおり：
  - 部分係数については若干決まっていないところがあるが，港湾についてはほぼ内容は確定しており，同様の整理は可能。ただし，構造形式などでは整理していない。分類の視点は重要度のみ
  - 農水では対象となるため池等の数が多いことから，基本的にレベル 2 地震は考えていない
  - 対象として下水道も入れたらどうか。マンホールの浮き上がり等による二次災害（道路交通阻害）などが発生しており，災害復旧や避難を考えると，重要と思われる

##### 3. 今後の進め方について

参考 1

- ・ 高橋より，参考資料 1 に基づき説明があった。
- ・ 対策工を選択するとき，最小限かつ直接工事費が安いものが多い。ライフサイクルコストなどを考えた対策工の選定等についても議論していただきたい
- ・ ひとまず，WG に分けて作業する前に，分担して，上記 2 のような整理をいろいろな構造物を対称にしてみる事となった。
- ・ 整理にあたり，高橋が雛形を作る事になった。
  - 表形式のものは，「まとめの例と分担.xls」の「まとめの表の例」を参照（委員会での審議はしていないので，ご意見を頂けると幸いです）。
  - なお，この表だけでは情報量が足りないため，できれば，別に資料 3 のようなメモ書きも用意して頂けると助かります。

- ・ 分担については、「まとめの例と分担.xls」の「分担案」の通りで、追加資料1の2007年度会長特別委員会報告書の目次をベースに対象構造物を示しています（ご欠席の委員分につきましては、その場で適当と思われるものを割り当てましたが、ご意見があれば頂けると幸いです）。なお、括弧内の数字は目次の章・節番号を表す。
- ・ 次回（10/29：15時～）までに、割り当てられた施設の、地震・雨に対する性能の考え方、耐災診断・評価法、対策法をまとめ、10/27までに高橋までに送ることとなった。

#### 4. 宮田委員長からの話題提供

資料2

- ・ 宮田委員長より、米国緊急事態管理庁の報告書（地震に関する性能設計のガイドライン）の紹介があった。本体は <http://www.nehrp.gov/pdf/fema445.pdf> からダウンロード可能。

#### 5. その他

- ・ 次回委員会の日程は、10月29日（金）15：00～17：00@JGS 会館となった。

以上